

講義名	専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	福田 哲也	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

1年生での基礎的な学修を受けて、2年生前期では大学の専門的な学修に向けての基礎を築くための演習を行います。
この専門基礎演習は、心理学系教員が担当します。心理学関連領域や社会学関連領域のなかで具体的なテーマを設定し、それについて調べ（文献を読み、情報を集める）、議論をし、発表し、レポートを作成する方法を学びます。これらの方法は、大学における専門的な学修を進めるうえで必要なものです。従って、必ず履修していただきたい科目となります。
演習で扱うテーマは演習担当者によって違いますが、どの演習クラスに所属しても「テーマについて調べ、議論し、発表し、レポートを作成する」力を身につける点で共通しています。
演習の内容は、授業計画を参考にしてください。また、内容の詳細については、初回授業時に担当者から説明がありますので、よく理解したうえで受講してください。

到達目標

- ・自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができる。
- ・文献講読、情報収集、調査、レポート作成、発表（プレゼンテーション）などの学習方法を身に付けることができる。
- ・自分の志望に基づいて、研究演習1の選択を適切に行うことができる。
- ・自己の将来について考えることができる。

提出課題

- ・議論する文献の担当箇所について資料を作成し、発表担当日1週間前までに提出すること。
- ・各授業回において、自己及び他者の発表について評価およびコメントの提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・各担当者の発表に対してのフィードバックとして、他の受講生からのコメントを受講生全体に共有する。

評価の基準

以下の点から総合的な評価を行う
・授業内での発表：60%
・各授業回におけるディスカッション参加（質問や発表に対する積極的な意見・コメント）：25%
・発表や司会に対する他の受講生からの相互評価：15%
成績評価の対象者は、授業の欠席回数が総授業回数の3分の1未満の受講生のみである（学期別16章に準ずる）。授業全体で出席回数が一定に満たない場合（全15回の授業において出席が11回未満の場合）、**「放棄」となる。**

履修にあたっての注意・助言他

- ・本授業においては、履修者全員で文献講読を行い、基礎的なアカデミックスキルの理解修得を目的とする。
- ・文献については初回授業において指示する。
- ・受講生は学期中に1～2回、文献の指定の箇所について資料をまとめ90分間の発表および他の受講生とのディスカッションを行う。
- ・発表者以外の受講生は、積極的に発表内容について意見や議論を行うことが求められる。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.大学生のためのリサーチリテラシー入門：研究のための8つの力。	山田 剛史・林 創	ミネルヴァ書房	2640	9784623060450
.アカデミック・スキルズ（第3版） 大学生のための知的技法入門。	佐藤 望・湯川 武・横山 千晶・近藤 勝彦	慶応義塾大学出版会	1100	9784766426564
.18歳からの「大人の学び」基礎講座：学ぶ、書く、リサーチする、生きる。	向後 千春	北大路書房	1540	9784762829543

その他

各自の発表担当回では、自身が作成した資料を人数分印刷し、教員及び受講生全員に配布すること

授業計画

- オリエンテーション
予習・復習
・授業までにシラバスを熟読すること（15分）
・心理学の歴史や心理学の範囲と学びの方向性について理解すること（20分）
・議論する文献の自身の担当箇所を熟読し、資料の準備・作成を行うこと（205分）
- 学びのキーワードと学士力
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 聞く力
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 心理社会学科研究演習合同ガイダンス1
予習・復習
・心理社会学科教員の担当している研究演習 の説明（シラバスや大学hp）を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておくこと（120分）
・ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べること（120分）
- 心理社会学科研究演習合同ガイダンス2
予習・復習
・心理社会学科教員の担当している研究演習 の説明（シラバスや大学hp）を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておくこと（120分）
・ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べること（120分）
- 課題発見力
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 情報収集力
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 情報整理力
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 読む力（読解力）
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）
- 書く力（執筆力）：大学で求められるレポート・論文
予習・復習
・授業で発表予定の文献を授業までに読み、疑問点を整理しておくこと（90分）
・発表やディスカッションを振り返り、内容の理解度を確認すること（90分）
・発表方法やディスカッションの進め方を振り返り、今後のプレゼンテーションに活かせるようにすること（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート		<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。
社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会共創・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的な知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。

コミュニケーション能力と、消費者と援助を求めるとの心理と行動の知識を有し、ビジネス場面と援助場面と心理学を応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

- ・自己及び他者の発表への評価およびコメントにはLISを用いるため、ウェブ接続が可能な端末が必要となる。